

令和6年度第1回奈良市特別職報酬等審議会会議録			
開催日時	令和6年12月26日（木）午前9時から午前10時45分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟6階 第2研修室		
出席者	委員	青木委員、伊藤委員、西川委員、松山委員【計4人出席】	
	事務局	山岡総合政策部長、玉置総合政策部次長、細川人事課長、中井人事課長補佐、逸崎係長、松山、濱口、西村	
開催形態	公開（傍聴人なし）	担当課	総合政策部 人事課
議題 又は 案件	1 委員の委嘱 2 会長選出 3 奈良市特別職報酬等審議会公開要領について 4 審議会の運営について 5 資料説明 6 審議		
決定又は 取り纏め 事項	1 会長に伊藤委員を選任した。 2 審議会公開要領に基づき、審議会を公開とした。 3 給料月額について、据え置きか増額のいずれかとした。 4 特別職の年収が一般職の年収を下回る場合について事例収集を指示された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 会長の選任 委員の互選により、会長に伊藤委員が選任された。			
2 奈良市特別職報酬等審議会公開要領について 事務局より審議会公開要領を説明し、審議会の公開が決定された。			
3 給料月額の適正なあり方について 事務局から下記資料について説明し、現在の特別職の給料月額が適正か審議した。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 松山委員と青木委員から、給与水準の上昇が中小企業では進んでいない実態があるため一旦据え置きとし、今後の状況を見極めるべきとの意見があった。 ■ 松山委員から、現状の給料月額が他の中核市と比較して、特に低すぎるわけではないと指摘があった。 ■ 西川委員から、民間企業においては約8割の企業が賃上げに取り組んでおり、かつ人口の社会増や財政状況の改善は評価すべき実績であるため、増額してもよいのではないかと意見があった。 			

- 西川委員から、常勤の監査委員の年収が部長級職員の年収を下回る場合がある現状について、特別職と一般職の職責の観点からして、バランスが崩れてしまうと懸念が示された。
- 伊藤議長から、条例本則上における市長の給料月額について、桜井市が奈良市を上回っていると指摘があった。

審議の結果、増額も考えられるが現時点で早急に結論を出すのではなく、今後の社会経済の動向を踏まえた上で再度審議すべきとの方向性が示された。

特別職の年収が一般職の年収を下回る場合があることについては、事務局で事例を収集し、次回に報告することとした。

資 料	資料1 奈良市特別職報酬等審議会規則【抜粋】
	資料2 各特別職の給与に関する条例 4件【抜粋】
	資料3 奈良市特別職及び一般職の給与等の変遷
	資料4 【中核市】特別職の年額給与収入の順位一覧
	資料5 【中核市】特別職の給料月額の順位一覧
	資料6 【中核市】10年前の特別職の給料月額の順位一覧
	資料7 【県内他市】特別職の年額給与収入の順位一覧
	資料8 【県内他市】特別職の給料月額の順位一覧